

大館発の映画、いよいよ公開！

関 商工観光課観光物産係 ☎43-7072

東北新幹線が新青森駅まで開通し、大館の観光への取り組みも各方面で積極的に行われています。また、地域資源を掘り起こし、観光客を呼び込んで経済活動を活性化させようとする動きも市民活動として広がっています。

そして昨年、ついに「大館の映画を作って全国、世界に発信しよう！」との思いが実現し、大館発の映画が完成しました。

**大館には何も無い？
映像の力で街を元気に**

控えめなのか、本当にそう思っているのか「何も無い」と口にしてしまう人がいます。これでは、本当に何も無い街になってしまう。もっと自信を持って大館を誇れる街にしたい…

平成21年3月、大館市で開催されたジャパン・ロケーション・マーケット2008(経済産業省主催/大館青年会議所共催)に触発された市内の若手経営者らが、映像の持つ力を使って地域を元気にしようとおおだて映像計画有限責任事業組合」を設立。

手始めに、大館・北秋田地域のプロモーションビデオ『北秋時間〜Time of the Northern Akita〜』を製作しました。

『北秋時間』は、全国の地域プロモーションビデオの多くが観光名所を長々と見せるのに対し、ショートストーリー3編構成で一つの映像作品に仕上がっています。

平成22年4月には、短編映画を対象とした映画祭『ショートショートフィルムフェスティバル&アジア2010』の「旅シヨートプロジェクト部門」で入選し、英語版が海外でも上映されています。

新しい手法への挑戦

おおだて映像計画の取り組みがこれまでの映画と大きく違う点がいくつかあります。

一つは、企画が映画製作会社ではなく、地域発であるということです。これにより伝えたいことを主体的に発信・展開することが可能になります。



朝陽が神々しさを演出 (松峰神社)



© おおだて映像計画

二つ目は、そうした要求に对应えられるように、製作を柔軟に行えるテレビ番組制作会社に依頼したことです。

そして何よりも映画づくりが目的ではなく、あくまで大館・北秋田地域を売り込むための手段であるということです。

作品の出来不出来よりも地域が注目を浴び、入り込み客が増えたり、産品が売れることで地域全体に活気があふれて欲しいとの思いがあります。

大館の良さとは何か

大館の良さを探して、長い議論とワークシヨップを重ねた末、「人の優しさ」「ゆたたりとした時間の流れ」「自然との共生と感謝の心」といったキーワードに集約し、さらに「おぼあちゃん」「山の神様」というイメージにまとまりました。

これらのイメージは、ロケハンに訪れる東京のスタッフが「大館に来ると何だか癒されるんだよね」「東京に戻りたくなくなる」といった言葉からも裏打ちされています。



© おおだて映像計画

雪沢・ジュンサイ沼でのワンシーン